

Pense of Japan シリーズ

代表者 金重暁子（経済B 3年）
構成員 赤星冨（教育B 4年） 菅田奈緒美（経済B 3年） 林茜嶺（経済B 2年）
狩又美穂（経済B 2年） 千々松美崎（人文B 2年）
後醍醐院加奈（人文B 2年）

1. Pense（パンセ）of Japan シリーズの活動目的

Pense of Japan は山口大学に在学している外国人留学生が日本の伝統文化行事を実際に体験することができる機会を作り出すと同時に、日本人学生と留学生が交流できる機会を定期的に作り出すことを目的とした活動である。国際協力サークル Pense（パンセ）が企画、運営を行う。今年1月から「Oshogatsu of Japan」を始めとした2月の「Setsubun of Japan」、そして4月に「Ohanami of Japan」を企画、運営してきた。さらなる活動の場の広がりや活動内容を深めるためにもおもしろプロジェクトに支援を申請した。

2. Pense of Japan シリーズの始まる前

今回おもしろプロジェクトの申請を受け、Pense of Japan シリーズは活動を行っていった。しかしおもしろプロジェクトの支援を実際に受け入れられるようになったのは6月1日以降である。おもしろプロジェクトに申請し、実際に採用されるまでの間にも Pense of Japan シリーズは活動を行ってきた。その期間中の Pense of Japan シリーズの活動を記入してみた。

2-1 Kodomonohi of Japan

活動日 : 5月14日（月）16時～18時
場所 : 国際交流会館第1号館1階
内容 : 新聞紙でかぶと、色紙、割り箸、色ペン、のりでこいのぼりづくり
参加者 : 24人（うち日本人5人）



Kodomonohi of Japan の1コマ

2-2 Tsuyu of Japan

活動日 : 6月4日(月) 16時～18時
場所 : 国際交流会館第1号館1階
内容 : 布でテルテル坊主, 折り紙でアジサイと蛙を折る
参加者 : 8人(うち日本人は1人)

※ Tsuyu of Japan は6月1日以降の活動ですが宣伝準備や活動材料はおもしろプロジェクトの支援を一切受けていないので除外させていただきました。



Tsuyu of Japan の1コマ

3. Pense of Japan シリーズ活動

Penseはおもしろプロジェクト支援を受けることによって7月に Tanabata of Japan を開催すると同時にこれまで Pense が今年1月から行ってきた Pense of Japan シリーズの活動を冊子にまとめ、大学の各機関や地域国際交流団体に設置させていただき準備を行ってきた。おもしろプロジェクトの支援を受けている期間中の詳しい活動内容をまとめてみた。

3-1 イベント企画・運営

●Tanabata of Japan

6月18日おもしろプロジェクトに「Tanabata of Japan」の際に使用する物品購入届を提出する。

①「Tanabata of Japan」の宣伝

パソコン Word を使用し宣伝紙(日本語・英語2枚)を作成しコピーカードを使用しカラーコピーを行う。そして自主活動ルーム, 各学部棟掲示板, 国際交流会館第1号館・2号館掲示板に掲示した。また留学支援室に留学生にメーリングリストで Tanabata of Japan の宣伝(日本語・英語)を送っていただいた。

②「Tanabata of Japan」の準備

模造紙(2枚)に七夕の由来・歴史, 行事内容をまとめる(マーカー, 黒ペン使用)。コピーカードで七夕の飾りの作り方をコピーする(8種類×4枚)。農学部に笹を取りに行く。ティッシュペーパーで, こよりを作り, 折り紙なども必要によっては切る。4グループごとにテーブルを分け, ペン, 色鉛筆, こより, 飾りの作り方の説明書, そして折り紙も色をバランスよく分配する。

③「Tanabata of Japan」の開催

日時 : 7月2日(月) 16時20分～18時
場所 : 国際交流会館第1号館1階

内容 : 模造紙にまとめた七夕行事の説明を行い、折り紙で七夕の飾りを作る。そして国際交流会館第 1 号館の入り口に設置しておいた笹に飾り付けを行う。
参加者 : 7 人 (うち 2 人途中参加)

④「Tanabata of Japan」の反省

- ・ なかなか人数が集まらず、開始時間が予定より遅くなってしまった。
- ・ 飾りを作り、笹に飾り付けをするのでは人数が少ないと盛り上がりや欠けてしまう場合がある。メリハリがあるイベント内容や、人数によってイベントの運行に変化をつける必要がある。



Tanabata of Japan の 1 コマ

●特別企画「Introduction of my country!」

短期語学研修として山口大学に訪れた留学生に山口大学のサークル活動を紹介する企画に私たち **Pense** も参加させていただいた。その際にいつもは私たち日本人が日本文化を留学生に紹介しているが、今回は留学生に自分たちの国を紹介してもらった。



「Introduction of my country!」の 1 コマ

活動日 : 7月13日(木)
場所 : 共通教育棟1階自主活動ルーム
人数 : 9人
内容 : ペンや色鉛筆、クレヨンを用意し画用紙を留学生に渡して自分の国の様子や自分の好きなものなど絵に描いてもらう。終了後は自主活動ルーム前の掲示板に書いたものにコメントを添えて掲示した。
使用材料 : ペン・色鉛筆・クレヨン・画用紙(活動中)、色画用紙(コメント掲示用)

3-2 「Pense of Japan」シリーズ冊子まとめ

テスト期間中に国際協力サークル Pense のメンバーに少しの時間集まってもらい、これまで行ってきたイベントそれぞれに担当者を決めた。そして写真や企画内容のデータを担当者ごとに手渡し、必須記入内容や内容例などを説明した。

8月29日に最終おもしろプロジェクト物品申請を行った。これらは今後の「Pense of Japan シリーズ」に必要とされる消耗品と「Pense of Japan シリーズ」冊子まとめに必要なコピーカードとファイルがある。後期始まり次第コピーカードでそれぞれのイベント内容を印刷しクリアファイルにまとめる。そして担当を決め設置場所への設置申請、設置を各々行う予定である。地域の山口在住の外国人と交流できる場づくりをすることが目的である。

4. Pense of Japan シリーズの反省

今回活動を終了するにあたっていくつか懸念すべき点があったのでその点を記入しておく。

①当初の予定より大きくずれが見られた。

当初の予定としては、夏休みが始まる前には「Pense of Japan」シリーズの冊子を作成・設置し、後期から大学内だけでなく地域まで活動の場を広げる予定であった。しかし七夕祭出店やテスト期間などがあり、なかなか時間をとることが出来なかった。余裕を持って活動に取り組めるようなスケジュール、そして具体的な活動内容を考えることが大切だと感じた。

②予算の使用に若干戸惑った。

当初 Tsuyu of Japan からおもしろプロジェクトの企画として考えていたが、6月上旬から物品の申請が可能になったのでそこで多少のずれが見られた。その点を考慮しておくべきだった。また夏季長期休暇中の活動を考えていなかったため、8月～9月の2ヶ月の期間の事も考慮し予算の申請を行うべきであった。

③イベントの際に人数が少なくなり、参加人数を増やすという課題を克服できなかった。

5月の「Kodomonohi of Japan」は参加人数が24人と多人数だったにもかかわらず、6月の「Tsuyu of Japan」以降から参加人数が一桁に下がったままであった。知り合いの留学生へのイベント紹介、また宣伝の掲示やメール配信など少なくとも宣伝活動は怠っていないつもりであった。考えられるのはバイト先が見つかった、またレポートや授業への出席など留学生側の都合のため、また一方で「Pense of Japan」を経験したが、想像より面白くなかったために参加する意思はなくなった Pense のイベントに問題がある考え方がある。

●対策として

留学生や参加者が参加しやすい曜日・時間帯(休日・朝早め、昼休みなど)にイベントを行うよう調整する、またイベント内容・運営自体を変えるという方法を思いついた。そのためには留学生向け情報を定期的に得られるようにする必要もある。今後の具体的対策としてイベント後にアンケートの設置を考えている。(具体的に参加者の感想を聞いたことがなかったのも反省点の一つである。)

以後もさらなる活動の発展をめざし、山口大学や山口市がより国際交流を経験できる機会を作り出していく覚悟である。